

平成29年11月9日(木曜)

日刊新周南 掲載

鼓ヶ浦整肢学園でハンドベル演奏会

●周南(徳山)●

10日まで・入所者の作品展も



演奏するグロリアリングス

もや高齢者、家族など約百人が聴き入った。

同学園では障害を持つ人のための病院や生活介護事業所など、乳幼児から高齢者までの医療、福祉、教育に取り組んでいる。

周南市久米の社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園(杉尾嘉嗣理事長が運営する鼓ヶ浦こども医療福祉センターで六

日、市内のボランティアグループ「グロリアリングス」(野村文字子代表)のハンドベル演奏会が開かれ、入所している子どもたちから入所者など

による第三回作品展も始まり、福祉型児童発達支援センター「つばさ園」の利用者の手形を張り付けた作品や、杉尾理事長の絵画、職員の写真などを十日まで展示している。

松本信明総務部長は「外来で来られる人などに見ていただき、学園がどういったところか知ってもらいたい」と話している。



展示されている作品